

令和2年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「地雷除去活動のための医療支援・応急処置訓練実施計画」 供与式の実施

令和4年6月17日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「地雷除去活動のための医療支援・応急処置訓練実施計画」（供与限度額：77,685米ドル(8,545,350円)）の供与式が、エレバン市内で行われました。本式典には、福島正則駐アルメニア日本国大使、アラ・ナザリャン・アルメニア非常事態省次官、被供与団体である地雷除去・解体財団NGOのクナリク・ダヴチャン代表等が出席し、その他パートナー団体等の関係者総勢約20名が参加しました。

本計画は、アルメニア国内で地雷除去活動を担う被供与団体に対して、活動時に同伴する医療機材搭載の救急車両を整備することで、地雷除去作業員の安全と緊急時の対応を改善させることを目的としています。また、公立中・高等学校の教職員を対象とした地雷リスク教育や応急処置訓練の提供を通じて、生徒の地雷リスク、応急処置に関する知識の向上を図ります。本計画の実施により、地雷除去作業活動にあたる18人及び学校職員・生徒約30,000人が裨益します。



福島大使のスピーチ



地雷リスク教育、応急処置訓練用ポスター



供与した救急車両（左からナザリャン次官、福島大使、ダヴチャン代表）



救急車両内部